

原本不良

4

# 捕獲事件記録

書 記	検 察 官	擔任評定官	拿捕船名			受 理 年 月 日	事 件 番 號
			ベ ニ ス	英 國 ヨ ツ ト	昭 和 十 九 年 十 一 月 三 日		
抗 議 期 間 満 了 日	年 終 局 日	訴 願 期 間 満 了 日	船 長	拿 捕 セ ラ レ タ ル 船 名	及 指 揮 官	佐世 補獲 審檢所	
昭 和 十 九 年 三 月 三 日	昭 和 十 九 年 三 月 十 日	昭 和 十 九 年 三 月 一 日			第 一 砲 艇 隊 司 令		

佐捕第十九號

南長48



昭和十八年十一月二十九日佐捕甲第八八〇號  
ヲ以テ擔任評定官指名ノ件檢察官ニ通知濟

昭和十九年三月十日書面受理ニ依リ捕獲ノ檢定同年四月十日檢定

昭和三十九年四月六日

佐捕乙第一七三號  
ヲ以テ檢定件内閣ニ報告濟

佐捕乙第一六〇號  
ヲ以テ佐々保鎮守府司令長官ニ檢定執了可也

佐捕乙第一六一號  
ヲ以テ檢定執了件内閣ニ報告濟

文書ノ標目	丁數	備考
送致書	一	
船名簿	二	
取書(前島勇吉)	三	
調書	六	
意見書	七	
公告揚子河汽船(友和及日本汽船)	八	
汽船汽船方申渡書	九	
檢定書(友和)	一〇	
檢定書(日本汽船)	一一	
檢定書(友和)	一二	
檢定書(日本汽船)	一三	

目錄

左世呆甫獲審檢所



東京府立総合資料館

文 書 ノ 標 目 丁 數 備 考


佐捕第二十一號 日本標準規格B列四號

上海方面根拠地檢密第一三三號ノ九ノ二

昭和十八年十月十二日

上海方面根拠地檢密司令官

佐世保捕獲審檢所長官殿

送 致 書

英領 ヨット ベニス (VENICE)

右事捕船泊ニ付審査手續相成歴州紙船泊事捕ニ適スル調査相添へ此  
及送致候

以上





船舶拿捕ニ關スル調査

一 拿捕船舶ノ要目

一字訂正

1 國籍船名及船名

英ヨットベニス (VENICE)

2 船種

遊覧ヨット俱樂部

3 當時揚揚國旗ノ有無

無

4 船長

電

電

數

(「長七五米」幅一八米「深〇四米」)

5 用途

遊覧

別

遊覧

用

6 建造進水年月日

不詳

7 船長其ノ他乗員ノ國籍住所氏名

不詳

8 所有者ノ國籍住所氏名 (又ハ船主ノ名)

英上海

M. A. White

二字挿入

本官ハ支那方面司令長官ノ命ニ基ク第一砲艦隊司令ノ命ニ

依リ前記船舶ヲ臨檢シタリ



一字削除

本官ハ前記船組内ヲ捜索シタル結果第一項記載ノ如ク敏性ヲ有  
 スルコト明瞭ニシテ事捕スベキモノナルコトヲ確認シ第一砲艇隊  
 隊司令ノ命ニ依リ之ヲ事捕シタリ

1、編隊事捕年月日 昭和十六年十二月八日  
 2、所 中華民国上海 銀行  
 4、本官ハ當時船内ニ船組警備、通貨、有價證券、貴重品及戦費ノ  
 有無ニ付調査シタルニ之ヲ發見セズ

昭和十六年十二月八日

第一砲艇隊司令行派遺

艦檢士官

前島勇市

### 聽取書

英國ヨソト ベニス 捕獲事件ニ付昭和十九年

一月十四日 佐世保捕獲審檢所ニ於テ

評定官 稲田 馨 對シ 前島 勇市

ノ爲シタル申供左ノ如シ

一 氏名ハ 前島 勇市

一 年齢ハ 當 四十六年

一 職業ハ 海軍少尉

一 國籍ハ 日本

一 住所ハ 佐世保海軍航空隊

一 私ハ昭和十六年九月五日附ノ辞令テ蘇州第一砲  
艇隊勤務ヲ命ゼラレ同月十二日同砲艇隊ニ着



一 佐世保捕獲審檢所

任シ其レ以來同十八年六月五日迄砲艇ニ乗船シテ  
関行鎮方面黄浦江水路ノ警言戒ニ任ジテ居リ  
マシタ

一 私ハ大東亜戦争勃發ノ約ニヶ月位前カラ第一  
砲艇隊司令 篠田中佐ノ命ヲ受ケ関行鎮附  
近ニ在ル船舶ノ敵性ノ有無ニ付テ調査シテ居  
ツタデアリマスガ関行鎮ニハ関行鎮ヨット俱樂部  
ト云フ上海在住ノ英國人ニヨツテ組織サレテ居ルヨツ  
ト俱樂部ノ事務所ガアリマシテ同俱樂部ノ艇庫  
内ニハヨット及ハウスボートガ八隻格納シテアリマ  
シタ 私ハ昭和十六年十二月八日大東亜戦争ノ勃發  
ト同時ニ支那方面艦隊司令長官ノ命ニ基ク第一

第九號ノ一 日本標準規格B列四號

砲艇隊司令ノ命ニ依リ右俱樂部事務所ニ到リ  
本件ヨット等 等 刑記ノ八隻ノヨット及ハウスボート  
ヲ臨檢シ敵性船舶ト認メテ之ヲ合掌捕シタデア  
リマス

一 私ガ調査シタ時分ニハ右俱樂部ニハ船舶ノ所有  
者テアル英國人ハ居ラズ支那人ノ留守番ガ一人  
居タガケテ同ノ人ニ尋ネ 支那人 ヨットノ船体ニ掲ゲ  
テアツタ 非名ニ 本件ヨットノ船名ガ「ベニス  
(Venice)」所有者ガ「エヌ・エイ・ホワイト(White)」  
デアルエトヲ確メタ訣デアリマスガ當時  
船内ニハ勿論事務所内ニモ国旗及船舶ニ関ス  
書類等ハ全然存在致シマセ又テシタ



尚ホ其ノ留守番ノ支那人ノ語ルトコロニヨルト本  
 件ヨツトハ右所有者が毎夏上海カラ閩行録ニ  
 来ニ黄浦江ヲ遊覽用ニ使ワテ居タト云フコト  
 テアリラス  
 一 本件ヨツトノ大サハ拿捕<sup>ニ関スル</sup>書記載ノ通り相違  
 アリマセヌ

右ハ書記之ヲ録取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違  
 ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

稲垣 鐵夫

佐世保捕獲審檢所書記

稻垣 鐵夫

通

事

申 供 者 前島勇市



右地検察官

事件 第六六九號  
佐捕乙第 二七 號

右地検察官

十九年一月十七日

英國ヨットベニス

捕獲事件ニ付事案ノ調査ヲ了ヘタルヲ以テ之  
カ取調書類ハ其捕シタル艦船ノ隊指揮官ノ送致書ト共ニ別冊記録ニ  
編綴致置候條送致書ノ附屬書類相添ヘ別冊記録及送付候

昭和十九年一月十七日

佐世保捕獲審檢所

審檢官 定官

福 日 程 彦

佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中

Vertical columns of faint text, likely a document or report, with some handwritten notes and a large signature.



佐捕乙第 二九 號

意見書

第六九号

英國ヨットベニス

本件事案ヲ精査致候處右ハ 敵 船ナルコト  
明カナルニ因リ 捕獲ストノ檢定可相成モノ  
ト思料候也

昭和十九年一月十八日

佐世保捕獲審檢所

檢察官

檢察官

徳永 榮吉  
官地 憲三

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官 稲田 馨 殿

佐捕第三十號 B 第列五號



意 見 書

昭和十九年一月二十二日

佐 世 保 捕 獲 審 檢 所

本件ニ付昭和十九年一月二十二日佐捕乙第三五號ヲ以テ印刷局業務部官報課竝ニ「日本タイムス」社ニ左記要領ノ公告掲載方ヲ囑託シタリ

昭和十九年一月二十二日

佐 世 保 捕 獲 審 檢 所

本件給船ハ帝國海軍ノ爲拿捕セラレ當廳ニ於テ審檢ヲ爲スニ依リ利害關係人ハ公告ノ翌日ヨリ起算シテ三十日以内ニ書面ヲ以テ當廳ニ訴願スルコトヲ得

右公告ス  
昭和十九年一月三十一日官報竝ニ「日本タイムス」ニ公告  
掲載済 高野



御尋査

御味十次平一月三十一日官辨並ニ「日本トムス」ニ公告

亦公告ス

マ當國ニ捕獲スルコトハ

日時限ヲ人ハ公告ノ翌日ヨリ時限マ三十日以内ニ書面ニ以

本件後議ハ帝國新軍ノ編成ニ付テハ當國ニ付テ審察スルニ付

茲世對 麻 登 審 察 也

御味十次平一月二十二日

諸官辨並並ニ「日本トムス」ニ據ニ本通受贈ノ公告御尋査ニ關連シ  
本件ニ付御味十次平一月二十二日並並ニ據ニ本通受贈ノ公告御尋査ニ關連シ

申 請 書

捕獲事件第六六九號 英國ヨットベニス

右事件ニ付利ノ期間人ヨリ法定期間内ニ訴願書ノ提出ナキヲ以テ審問  
ノ手續ヲ爲サス直ニ檢定相成度候也

昭和十九年三月九日

佐世保捕獲審檢所檢察官

Handwritten signature



佐世保捕獲審檢所長官 杉浦 忠 謹 啟



第六十九号

送付書

英國ヨットベニス

捕獲事件ニ付

檢定書謄本一通及送付候

昭和十九年三月十一日

佐世保捕獲審檢所書記

高野正成

佐世保捕獲審檢所檢察官

御中

右檢定書謄本受領ス

昭和十九年三月十一日

檢察官印





第六九號

本件ニ付昭和十九年四月一日佐捕乙第一五四號ヲ以テ内閣印刷局官報部官報係ニ該檢定ハ昭和十九年四月一日確定シタル旨掲載方囑託ヲ爲シタリ

昭和十九年四月一日

佐世保捕獲審檢所

昭和十九年四月十四日官報掲載(高野)





佐捕乙第

英國ヨット ベニス

號

(事件第 1779 號)

右ハ別紙檢定書ノ通稱漢ト檢定結成確定致候候書縣ニ於テ相當海軍官衙ニ執行トシテ引渡相煩度捕獲審檢令第三十條ニ依リ此段及

爾託候  
追而引渡ノ上ハ受領者ヨリ別紙受領書ヲ徴シ同送方御取計相成度候

昭和十九年四月六日

佐世保捕獲審檢所

檢察官

佐世保鎮守府司令長官 候 香 小 松 輝 久 殿



受  
取  
印

英国ヨットベニス

右捕獲事件檢定確定ノ上轉トシテ引渡ニ付檢定書ノ原本ト共ニ受領致仕

昭和十九年十一月二十日

昭和十九年十一月十八日

(事件第六六九號)

海軍省参事長佐科美四郎

佐世保捕獲審檢所

檢察官 徳 永 榮 口 殿



受

英國ヨットベニス

右捕獲事件檢定確定ノ上轉付シテ引渡ニ付檢定書ヲ原本ト共ニ受

領收

昭和十九年十一月二十日

受

字

號

昭和十九年十一月十八日

(事件第六六九號)

海軍省行方長佐科善四郎

佐世保捕獲審檢所

檢察官 徳永 榮 口 國



